

平成27年9月14日

報道関係各位

本学学生が研究成果を活かして起業 岩手県立大学発・学生ベンチャー「BlueIPU」を起業しました

本学のソフトウェア情報学研究科・学部が研究成果を活かして「BlueIPU」を起業しましたのでお知らせします。

ソフトウェア情報学部ソフトウェア設計学講座では、BLE（Bluetooth Low Energy）ビーコンを用いる位置測位（以下、BLE 位置測位）の研究を進めています。BLE 位置測位は、GPS が利用できない駅や地下街などの屋内において、位置測位やナビゲーションが行える技術として注目を集めており、オリンピックに向けた観光案内や高齢者／障がい者の自立支援の分野で活用が期待されています。

研究グループでは、独自の BLE 位置測位技法の考案およびソフトウェア開発を行い、既に企業への導入実績もあります。その研究の中心的メンバー2 名が、研究成果である著作物（ソフトウェア）や知的財産権を活かして、ライセンス販売を行うベンチャー企業「BlueIPU」を設立しました。今後、公共インフラへの導入など幅広い分野でのビジネスが見込まれ、地域の IT 産業の活性化を目指しています。

在学生が学内起業をするのは初めてのケースであり、本学では知的財産権の活用などについて外部の専門家／アドバイザーも活用し起業を支援します。また、滝沢市と連携し、滝沢市 IPU 第 2 イノベーションセンター内に 10 月に開設予定の IPU シェアデスクで企業活動を行うこととしています。

つきましては、下記の内容で事業紹介やシステムデモを行いますので、当日のご取材・報道についてよろしく願います。

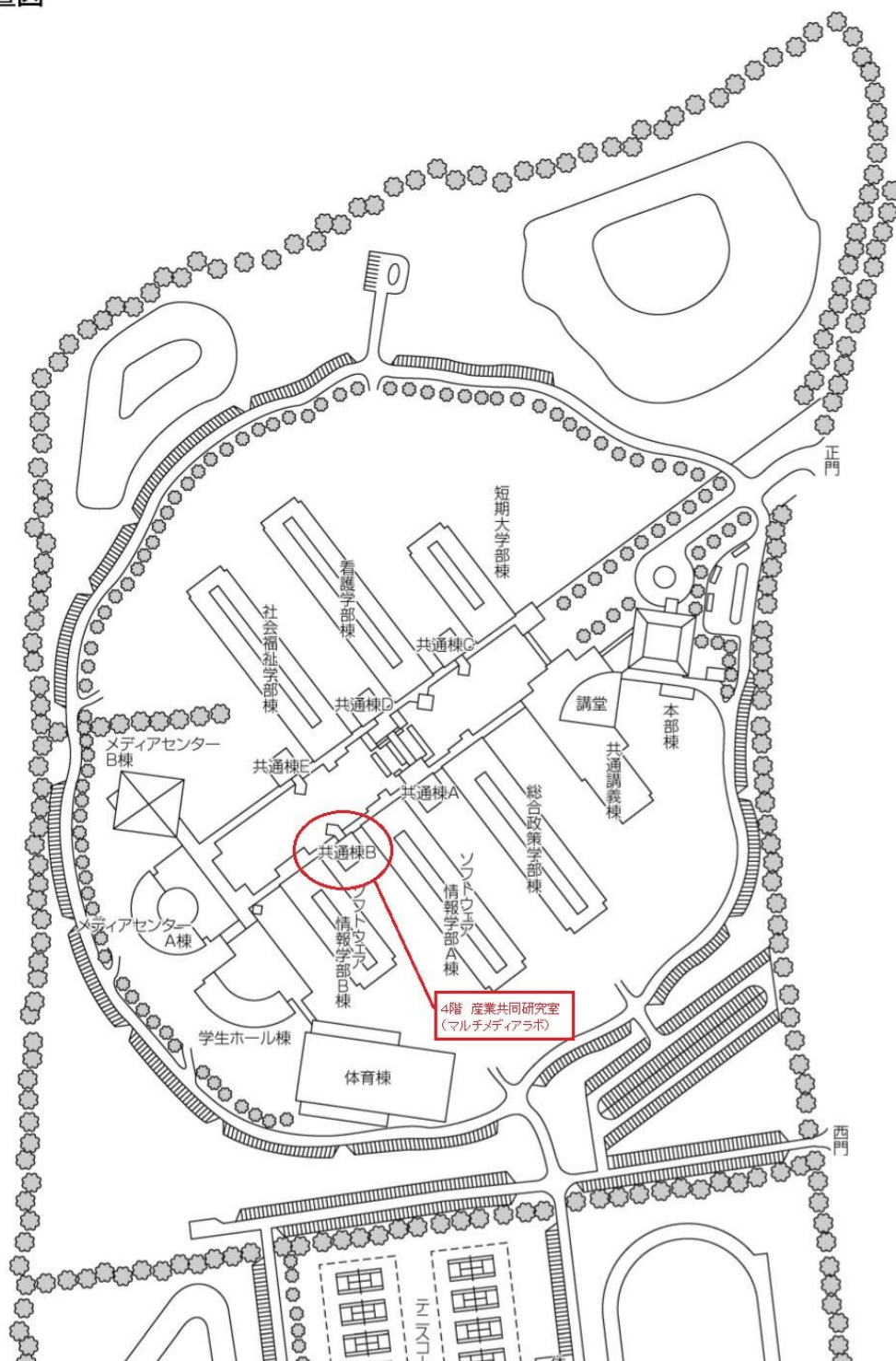
記

- 1 日 時：平成 27 年 9 月 25 日(金) 10:30～12:00
- 2 場 所：岩手県立大学 共通棟 B 4 階 産業共同研究室（マルチメディアラボ）
- 3 内 容：鈴木厚人学長挨拶
「BlueIPU」の紹介
BLE 屋内位置測位技術の概要
システムデモンストレーション
※鈴木学長の他に関係企業、滝沢市、学生等で 20 名程度参加予定。
- 4 説明者：ソフトウェア情報学研究科修士 1 年 古舘達也（BlueIPU 代表）
ソフトウェア情報学部 4 年 工藤大希（BlueIPU 副代表）
- 5 経 緯：地元 IT ベンチャー企業の株式会社 ERi が開発した BLE ビーコン（Bluetus）の有効利用を模索し、2 年前に研究をスタート。独自の BLE 位置測位手法を特許出願中。現在は、屋内位置測位として高精度な測位が可能となっており、多くの企業から注目されている技術の 1 つ。

【問合せ先】 岩手県立大学 企画室 企画広報グループ 三輪 019-694-2005

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52 www.iwate-pu.ac.jp/

施設配置図





企業名	BlueIPU
所在地	岩手県滝沢市巢子152-409 滝沢市第2イノベーションセンター IPUシェアデスク
代表	古舘 達也
副代表	工藤 大希
Web	http://www.blueipu.com

事業ビジョン

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック会場の整備や再開発事業など、今後の社会インフラ整備にはハード面だけではなくソフト面でもきめ細やかな対応が必要となります。例えば、オリンピック会場への円滑な移動や非常時の避難誘導、高齢者・障がい者の自立支援は社会共通の重要な課題となっています。BlueIPUでは、ソフト面のインフラ整備としてGPSが利用できない駅や地下街など屋内環境を対象とした測位システムを提案します。すべての人が屋内外の円滑なナビゲーションによる移動や避難支援などのサポートを受け、自立できる高精度測位社会の実現を目指します。

現在、Bluetooth Low Energyビーコン（BLEビーコン）を屋内に設置し、その電波強度からスマートフォンの位置を推定するシステムを開発しています。BLEビーコンは手のひらサイズでも数年単位で利用できる無線通信機器として注目されており、駅構内でのナビゲーションシステムや、短期的なイベントにおける位置情報連動型の情報配信など様々な応用アプリで利用可能です。また、BLEビーコンを設置できないような環境でも、スマートフォンが内蔵する各種センサを用いた簡易測位が可能となっており、現在Androidアプリとして販売やカスタマイズ等の事業を行っています。

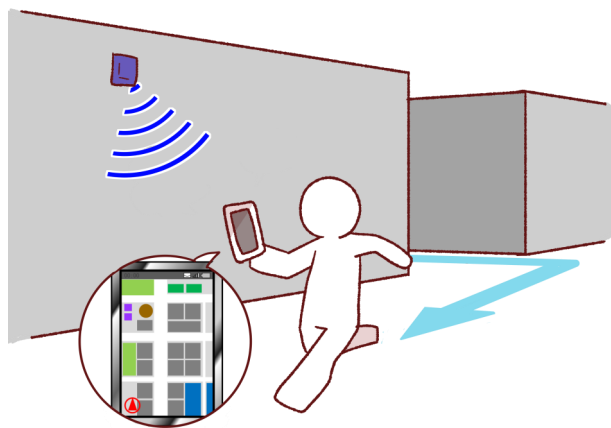
事業概要

起業の経緯

私たちは、2013年の夏より岩手のITベンチャー株式会社イーアールアイ様が製造するBLEビーコン「BLUETUS」を用いた屋内測位システムの研究開発を始めました。BLEビーコンは、Apple社のiBeaconなどの登場で大きな注目を集めていますが、屋内測位に利用する上ではスマートフォンの機種による性能差が普及への足かせとなっていました。そこで、スマートフォンの性能差に低依存な測位技術の確立を目的に研究開発を進め、開発ソフトウェアは既に企業で利用して頂いています。今後は、開発したソフトウェアの利用拡大のため、特許ライセンスやオフィスの面で所属する岩手県立大学の支援を受けて起業することとなりました。

BlueIPUの屋内測位技術

BlueIPUでは、BLEビーコンを用いた屋内測位技術を研究開発しています。従来の屋内測位技術では、スマートフォンの持ち方や機種による性能差によって高精度な測位が困難となっていました。そこで、BLEビーコンの電波強度を独自技術によって処理し、スマートフォンの保持姿勢や機種による性能差を最小限に抑える技術を開発しました。これにより、様々なサービス・多様な環境での高精度な測位が可能となります。



屋内ナビゲーションの利用例

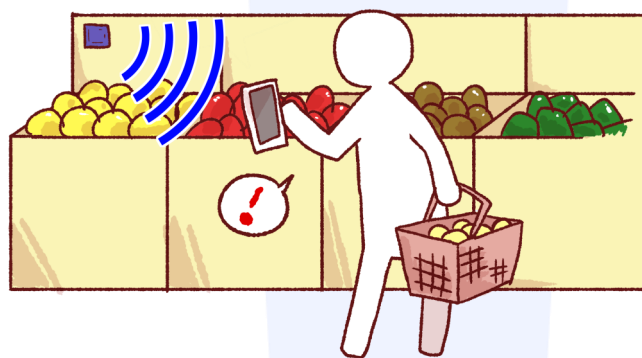
屋内 ナビゲーション

BlueIPUの測位技術は、駅構内や空港、大型ショッピングモールなど複雑な建物での安全な屋内ナビゲーションを実現しま

す。電波強度で測位を行うため、スマートフォンがポケットやカバンの中にあっても利用可能であり、屋内ナビゲーションで懸念される「歩きスマホ」を防止したナビゲーションが構築できます。また、機種による性能差にほとんど影響を受けないため、BLE対応のスマートフォンであれば、アプリをインストールするだけで利用することができます。

情報配信

BlueIPUの測位技術は、近年注目されるO2O(Online to Offline)でも活躍します。店舗に来店した顧客の位置を測位することで、顧客の位置に応じたクーポン配信やネットとの連携が可能となり、購買促進につなげる事ができます。BlueIPUの測位技術は、BLEビーコンに近づいた事だけでなく、人の移動を推定する事ができるので、詳細な顧客の位置情報に基づいた情報発信が可能となっています。



位置連動型情報配信の例

お問い合わせ先

岩手県滝沢市巣子152-409
滝沢市第2イノベーションセンター
IPUシェアデスク

担当者 古舘・工藤

TEL 090-4312-9508

MAIL help@blueipu.com